

市民の皆さまへ（市長メッセージ）

本日、神戸市立学校園を5月6日まで臨時休業することとしたほか、市民の皆さまに対し、不要不急の外出等の自粛をお願いする「新型コロナウイルス感染症対策における神戸市の対応方針一第5弾（追加）一」を決定しました。

私としては、3月3日から1か月以上、子どもたちが学校に通えない状況になっていたことを踏まえ、新たな学校への進学、新たな学年への進級をするこの4月、なんとか学校を再開し、子どもたちを学校に行かせてあげたい、という気持ちがありました。このため、教育委員会に開校するための準備をお願いしていたところです。

この週末、東京都と大阪府では、過去最大となる感染者数となりました。その中においても感染リンクが不明な感染者が多く、今後の爆発的感染拡大への懸念が強まっています。神戸市はこれらの地域と往来される方も多く、その影響が今後、神戸市にも波及してくることを想定しなければなりません。

また、神戸市でもこの2日間で10代の感染者を含む6件の感染が確認され、現時点でリンクが不明な感染者も複数含まれています。さらにこのほかにも6件の陽性反応が出たことが分かりました。

これらの感染者数は、潜伏期間や医療機関への受診、検査等にかか

る期間を踏まえれば、1～2週間前の感染の状況を示すものです。今後、神戸市において感染がさらに拡大する可能性も少なくないと言わざるを得ません。

こうした状況を総合的に勘案し、本日、ゴールデンウィークの連休明けまで、学校園を休業することになりました。

学校園を休業することは言うまでもなく、子どもたちと子どもたちのいるご家庭に我慢を強いることとなります。このことを市民の皆さまに十分ご理解いただき、できるだけ早期に感染拡大を収束させ、学校再開が可能となるよう、自らだけでなく、他人に感染させないために必要な行動を強くお願いしたいと思います。

具体的には以下について、ご理解ご協力をお願いします。

- ① 不要不急の外出や会合、家族以外の大人数での会食などを行わない。
- ② 子どもたちをカラオケや繁華街などに出入りさせない。
- ③ 大人数でのコンパや歓迎会などを主催したり、参加したりしない。
- ④ 東京都、大阪府との間の不要不急の往来を自粛するとともに、これらのエリアから通勤などにより止むを得ず往来される場合も、人混みには立ち寄らないなど感染防止のための行動をとる。

学校現場には分散登校のほか、様々な工夫を凝らして、子どもたち

の学習指導や生活状況の把握を行っていただきます。分散登校では、公費で希望者に給食を提供します。

幼稚園はやむを得ない事情で家庭により保育できない幼児に限り預かる対応をお願いします。

保育園は臨時休業しませんが、可能な限り家庭保育を強く要請します。

学童保育は、やむを得ない事情で家庭により保育できない小学校3年生以下の児童に限り、通常の長期休暇と同様、午前中からの保育を実施します。また、やむを得ない事情で家庭により保育できない小学校4年生以上の児童は、該当の小学校において預かりますが、学童保育については可能な限り家庭保育を強く要請します。

市民の皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年4月6日

神戸市長 久元 喜造